

「信号・通信分野に関する実用成果報告会」を開催しました

2019年1月15日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、「信号・通信分野に関する実用成果報告会」を開催いたしましたのでお知らせします。

鉄道総研は、信号・通信分野に関する実用的な研究成果をご紹介することを目的として「信号・通信分野に関する実用成果報告会」を2018年12月21日に開催し、鉄道事業者を中心に19社、85名の方々にご来場いただきました。報告会では初めに、展示件名について各研究室長が概要を解説し、その後、10件の成果展示ブースにおいて、システムの画面や実物をご覧いただきながら、ご来場者との間で技術的な質疑や今後の展開等に関する意見交換を行いました。最後に、信号・情報技術研究部長の川崎邦弘が「信号通信技術の展望」と題して講演を行いました。

信号・通信分野に関する実用成果報告会

1. 開催日時：2018年12月21日(金) 15時30分から17時35分
2. 場 所：鉄道総研 国立研究所 インタラクションスクエア

3. プログラム

●成果件名概説

「開会の挨拶」

- | | |
|--|-------|
| 事業推進部 事業企画課長 | 早川 敏雄 |
| (1) 「信号システム研究室に関する展示」
信号・情報技術研究部 信号システム研究室長 | 寺田 夏樹 |
| (2) 「列車制御研究室に関する展示」
信号・情報技術研究部 列車制御研究室長 | 岩田 浩司 |
| (3) 「ネットワーク・通信研究室に関する展示」
信号・情報技術研究部 ネットワーク・通信研究室長 | 中村 一城 |
| (4) 「画像・IT研究室に関する展示」
信号・情報技術研究部 画像・IT研究室長 | 鶴飼 正人 |
| (5) 「運転システム研究室に関する展示」
信号・情報技術研究部長 | 川崎 邦弘 |

●成果展示

- (1) 地方交通線向け列車制御システム
- (2) 遠赤外線画像式踏切内異常検知装置
- (3) 閑散線区向けの転換制御システムおよび動力転てつ機
- (4) 信号設計支援ツール
- (5) 線路座標を活用する鉄道向け高信頼 GNSS 測位計算プログラム
- (6) 無線式列車制御用ネットワークシミュレータ TCNET
- (7) 無線データ伝送回線シミュレータ RADTRACE
- (8) 無線式列車制御用通信/運行シミュレータ
- (9) 運転士視認支援
- (10) EMC・無線測定用ワゴン車

●展望講演

「信号通信技術の展望」

- | | |
|-------------|-------|
| 信号・情報技術研究部長 | 川崎 邦弘 |
|-------------|-------|



成果展示



展望講演